
編集後記

◆新緑の五月発刊をめざしてスタートした第1号の編集作業でしたが、あっというまに暑い夏を通り過ぎ、はや金木犀の匂う十月になってしまいました。

◆最後は何人かの編集委員が“戸越ホテル”（別名史料館）にカンヅメになってシャカリキに校正。ここに、やっと私たちの会誌が飛び立ちました。手にされての印象、読後の感想、いかがだったで

しょうか？

◆お願いふたつ。ひとつめは本誌の普及です。会員以外の人びとに、広く「アーカイブズの世界」を知ってもらい、「記録遺産を未来に」伝えることの大切さを理解してもらうために、みなさんの近くにある図書館や博物館、お知りあいの方がたに本誌を購読するように勧めて下さい。

◆もうひとつは、本誌に投稿を！ということです。会員のみなさんひとりひとりが支えてくれなければ、本誌は育ちません。各地の小さな情報でも結構です。よろしくお願いします。（安藤正人）